

3Dプリンタ講習

2014/3/6

- 受講者：船本・内野・永山・佐々木・鈴木・角田・中川
講師：桶田（企画）

- 背景

本校では 2010 年度に富士山麓医用機器開発エンジニア養成プログラムでの利用を目的として Dimension Elite (ABS 樹脂) と Z Printer450 (カラー石膏粉末)の 2 種類の 3D プリンタ を導入致し、2012 年度は EDEN260V (光硬化樹脂)、2013 年度は Connex500 (光硬化樹脂 2 種類を混合使用)を追加で導入した。近年は 3D プリンタが注目されており、地域の企業や商工会から多くの方が本校の 3D プリンタ機器を見学に訪れているので、2014 年度は社会人向けの公開講座の開催を予定している。この度は、公開講座の予行演習と、導入機器の特徴をわかりやすく説明し有効活用していただく事を目的として学内向けの講習会を開催した。

- 日時

2014 年 3 月 6 日 15:00ー

- 場所

テクノセンター3F 多目的実験室

- 内容

3D プリンタの実機を見学しつつ、以下の内容を説明した。

- ・ 3D プリンタと Additive Manufacturing
- ・ Dimension Elite 紹介
- ・ Z Printer 450 紹介
- ・ EDEN 260V 紹介
- ・ Connex 500 紹介
- ・ 測定結果比較
- ・ 3D プリンタと特許と企業買収の歴史

- 講師所感

各 3D プリンタで製作した造形物を 3次元測定器で比較測定を行うことで、造形方式の違いや造形の向きによって変化する製作精度を説明できることは、一般企業の方にも興味を持っていただける内容であると考えている。

